

企業版ふるさと納税を用いた寄附を募集しています！



知立市は、コンパクトながらも交通の便の良さを活かし、人口密度の高い市で、「輝くまち みんなの知立 にぎわう・つながる 自分らしさをかなえるまち」を将来像として、まちづくりを進めています。

その達成のために、これまで以上に居住地として選ばれるまち、住み続けたいまちとなることを目指して、以下を始め様々な事業を展開しています。

不登校対応 オンライン学習支援実施事業

・課題と概要

全国的に不登校の子どもたちの増加により、いじめ・不登校を防止するとともに、多様な学びの場、居場所の確保が喫緊の課題となっています。

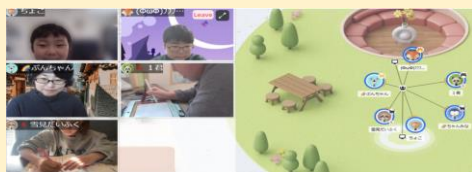
知立市では、メタバース（仮想空間）上に知立市専用のエリア（イメージ上の校舎）を構築することで、知立市の児童生徒に参加しやすい学習環境を提供します。

・効果

まず参加体験を、そして次のステップとして豊富な既存の実績のある授業コンテンツを自由に選択して各自のレベルに合わせた学習の機会を提供するとともに、そこでの他者との交流をとおして社会性を維持することや社会的自立の一助とします。

・寄付目標額

70万円



小中学校における太陽光発電 設備・空調設備設置事業

・課題と概要

子どもたちの学習・生活の場であるとともに、災害時には避難所として活用される学校体育館は、避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る必要がありますが、全国的にみても整備が課題となっています。

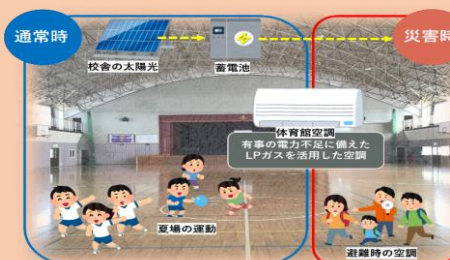
知立市では、学校体育館に空調設備を設置するとともに、屋上に太陽光発電設備を設置し、これらに連携した蓄電池設備を整備します。

・効果

設置により、平常時の電力の一部を賄うとともに、夏季授業時における熱中症対策や災害時に冷暖房を確保し、快適に避難所生活ができるようになります。

・寄付目標額

2,100万円



带状疱疹予防接種事業

・課題と概要

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水泡が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が直った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

知立市では、带状疱疹が予防接種法に基づく定期予防接種の対象となったため実施するとともに、その対象となる年齢を待つことなく、早期に接種を希望する65歳以上の市民等を対象に、任意予防接種の費用の一部も助成します。

・効果

個々の事情に合わせた選択肢を増やし、より多くの人に予防接種の機会を提供します。

・寄付目標額

4,800万円

寄附のベネフィット！

イメージ UP

- ・地方公共団体が行う**地方創生に協力**した実績ができる。
- ・**地方創生の取組を応援する企業**として認識され、**新たなビジネスチャンス**に繋がる可能性が高まると共に、**社員の士気向上**や**人材確保の一助**となる。

認知度 UP

- ・市公式ホームページへの掲載
- ・市公式LINE（約5万人登録）への投稿
- ・広報紙（全戸配布）への記事掲載



知立市公式ホームページ
（企業版ふるさと納税のページ）

<https://www.city.chiryu.aichi.jp/soshiki/kikaku/kikakuseisaku/gyomu/1463640909800.html>

その他

- ・寄附贈呈式の実施（100万円以上の寄附）
- ・知立市表彰式において感謝状（20万円以上の寄附）または一般表彰（100万円以上の寄附）の対象

問い合わせ先

愛知県知立市企画政策課地方創生SDGs係
☎0566-95-0114(直通)
✉ kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp